

研究協力のお願について

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

生体弁を用いた大動脈弁置換術の手術成績

2. 研究の目的について

大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症といった大動脈弁疾患では、人工弁置換術が施行されます。使用する人工弁は、生体弁と機械弁に分類されます。生体弁では永続的な抗凝固療法が不要となる一方で、経年的に構造的劣化が起こることが予想されます。機械弁では、耐久性に優れており半永久的に使用可能ですが、血栓症ができやすいため、生涯にわたる抗凝固療法の継続が必要です。

近年では生体弁が多用されますが、その種類は材質、構造、抗石灰化処理法は、各生体弁で異なっています。これら生体弁の早期成績、遠隔期予後を比較検討することは、より適した生体弁を選択することにつながると考えています。この研究では、当科での生体弁を用いた大動脈弁置換術の術後成績について観察研究を行い、術後中・長期成績について検証したいと思っております。

3. 研究の方法について

2016年1月から2023年12月までに、生体弁を用いた大動脈弁置換術を対象とします。その際の画像所見、術中所見、術後合併症の結果などを電子カルテのデータから情報収集します

4. 研究期間

研究承認日から 2025年11月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、術中所見、治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

General Thoracic and Cardiovascular Surgeryに投稿予定です。また、中間報告として、第77回 日本胸部外科定期学術集会（2024年11月1日から2024年11月4日まで）に発表予定です。

